



『日本の蹴鞠』
池修 / 著 光村推古書院



「和を以て貴とす」の心
に通じる。伝統球技の
解説書が登場！
蹴鞠の世界を通し、先人
達の生きる上での心構えが見える。



中田英寿も参加！？ 伝統球技の解説書が登場

「和を以て貴となす」は聖徳太子が作った十七条憲法の第一条。この精神は「蹴鞠」にも通じると本書は始まります。優雅に鞠を蹴り合うというイメージしか持っていなかった私。けれど、読めば目からウロコが落ちるほど、奥深い世界が待っていました。成り立ち・蹴り方・稽古方法・武士との関わり・美意識など、充実した内容です。今も、神社での奉納鞠等で実際に見ることが出来ます。サッカーW杯開催に日本の勝利を祈願して、京都の下鴨神社で蹴鞠の奉納が行われ、元日本代表の中田英寿がサムライブルーの装束に身を包み参加しました。「蹴鞠」の精神を通し、先人達が考えた生きる上での心構えが見えてきます。

『日本の蹴鞠』

(池修／著 光村推古書院)

定価：2,000円(税別)

仕様：A5判 186ページ

ISBN：978-4-8381-0508-3